

沼津西ロータリークラブ週報



ロータリーの未来はあなたの手の中に

2009～2010年度
第19巻13号
2009年10月1日

●クラブテーマ● ロータリーで仲良く

■■ 本日のプログラム ■■
会員卓話 職業奉仕委員長 芹澤貞治君

例会場：ブケ東海 (18:30点鐘) 例会日：毎週木曜日
第三木曜日：18:30

事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第871例会 会長挨拶◆◆

井上 武雄 会長

「何故にロータリーなのか」の、一部を紹介させていただきます。

人は皆、まず自らの幸せな生き方を求めることが出来る。このことは、いうまでもなく近代思想の原点であろう。

ところが人は、周囲の人々と幸せなくしては、自らの幸せを手に入れることが出来ない。このことも、大多数の人がすでに確信を以って理解しているところである。人の世の幸せに人の心が深くかかわってくるからであろう。

従って人は、自らが、幸せになるに伴って、周囲の人々も幸せにする様に努めなければならず、また、周囲の人々が幸せになるのに伴って、自らもさらに、幸せになって行くことが、出来るのであろう。

人は、自らの幸せを手に入れるためにも、自らの周囲の人々に色々な働きかけをして行くことになるのであろう。

その周囲の人々の範囲も、家族や地域社会に始まり、国内社会から国際社会へと広がって行く、自らの奉仕活動の手法を採用して、ロータリアンとして、活動することに生甲斐を感ずる所似である。

本日は、職業奉仕の月間です。職業奉仕委員会より職業奉仕活動についての卓話等があると思

ます。後程宜しくお願い申し上げます。

10月のプログラム

872回	12:30	ブケ東海	会員卓話
10月08日(木)		会長(井上武雄君)、米山委員(芹澤和子君)、幹事(杉山壽章君)	
873回	12:30	沼津東急	ガバナー公式訪問
10月13日(火)		曜日変更	移動例会
874回	12:30	米山記念館	米山奨学生卓話
10月22日(木)		朴俊範(韓国)	移動例会
875回	12:30	ブケ東海	外部卓話
10月29日(木)		帯笑園(植松靖博様)	

クラブ管理運営委員会報告

●ビジター

1. 斉藤利一様：沼津北RC
2. 若林庸道様：沼津北RC

★出席報告(会員総数23名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
871回	23名	21名	-	91.30%
869回	23名	20名	2名	95.65%

●欠席者(2名)

久松 但、芹澤和子

会 長	井上武雄	幹 事	杉山壽章
広報委員長	植松 正	編 集 者	名古屋輔

●スマイル報告

1. 杉山 了：誕生日のお祝いありがとうございます。
2. 宮島賢次：誕生日のお祝いありがとうございます。
認証状伝達式、お疲れ様でした。
3. 重光 純：妻の誕生日のお祝いありがとうございます。
4. 本村文一：入会記念のお祝いありがとうございます。
5. 井上武雄：インターアクト認証状伝達式、ご協力ありがとうございました。
6. 芹澤貞治：インターアクト認証状伝達式、無事終わりました。ありがとうございました。
7. 成田みちよ：杉山 了さん、お誕生日おめでとうございます。
8. 鈴木良則：所用につき、早退させていただきます。
9. 成田みちよ：所用につき、早退させていただきます。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①御殿場ロータリークラブ

10月15日(木) 観月会 於：駿富苑

10月29日(木) 特別休会

2. 報告・連絡事項

①ガバナー事務所より

日本事務所より10月のロータリーレート、1ドル=90円のお知らせが入りました。確認をお願いします。

②今月は13日(曜日変更・移動例会)・22日(移動例会)があります又夜間例会はありません。

③10月22日の米山奨学生の卓話の日はカウンセラーの原久一(三島西ロータリクラブ)氏も一緒にうかがう予定です。(2名の出席です)又、米山記念館移動例会の出欠席を各テーブルに置きます。記入をよろしくお願いします。

④10月01日加藤学園高等学校インターアクトクラブの第一回例会を、17:00より学校で開催するそうです。例会の進め方の指導もありますので、できましたら、どなたかの出席をお願いします。

卓話



■ 奉仕プロジェクト委員長 芹澤貞治君 ■

10月はロータリーの職業奉仕月間です。この機会に、私のロータリーの職業奉仕感について語りたと思います。

ロータリーの4大奉仕の第2の奉仕である職業奉仕は、他の3つの奉仕と違い、解釈に苦慮するのは私だけではないと思います。

ロータリーの根元は職業奉仕にあると思われまふ。例えば会員一人一人が職業分類を与えられ、入会資格には厳格に選考される訳です、RI定款には「善良な成人であつて職業上良い評判を受けている者」と規定されています。ロータリーの綱領を思い出してください。「有益な事業の基礎として…」で始まります。そしてロータリーのテーマである「超我の奉仕」や「最も良く奉仕するもの、最も多く報いられる」にも表れている。

又、尊敬すべき先輩ロータリアンであるハーバート・テラーが1932年に草案した「4つのテスト」が職業奉仕の最大の倫理基準ではないかと思ひます。

ポール・ハリスの考えとしては、当時のアメリカでは「買い主が注意」「ビジネスはビジネス」「他人にやられる前にやれ」そして、競合者は敵であり、それらを実業界から追放できたなら自分にとって好都合、と利己主義で早い者勝ちと情け容赦ない時代、そうした時代に友情とビジネスを結びつけ、ビジネスも栄え、友情も深める事が出来ないか、との思いがロータリークラブ創立に結び付いたと思う。

人々が最初、ロータリーに加わった動機は、なにか商売上うまい話があるのではないかというものがあったが、しかし会員を各事業・専門職業から一人に限る事により、クラブの雰囲気をもるものにした事で、職業を異にする人達と知り合う機会となり、他人を思いやり、友好的で非競合的な雰囲気新しい理念が芽生えて、報奨を求める事なく他人の為に役立つことをする事に魅力を感じ、ロータリーに共感する事で、この様に全世界に広まっていったと思う。ビジネスだけなら業界団体であり、友情だけで

は親睦団体となって、この様に成長はしなかったと思われる。

わかりにくい” 4つのテスト、をこの様に言い換えればなんとなく理解できると思います。

事業の立案・企画・実行はこれに照らしてから、

- 1) 真実かどうか--は、嘘偽りはないか？
- 2) みんなに公平か--は、関係者全てに公正明大か？

※ 近所の人やどこに住んでいる人々にもみんな公平かではなく、職業上関係する人、つまり、お客様はもちろん従業員・仕入先・下請けなどに対して。

- 3) 好意と友情深めるか--は、事業の良い支援者になってもらえるか？

※ 好意と友情を深めて友達になろうではなく、職業上考えたり、言ったり、やったりしている事で、お客様はもちろん、関係者に支持・支援を受けられるか。

- 4) みんなの為になるかどうか--は、関係者全てに有益となるか？

※ お客様を始め、仕事の関係者みんなにとって利益になるかという事。

奉仕する団体はロータリークラブ以外にも多くあるが、色々の団体とロータリーの一番の違いは、職業奉仕があるかないかであり、ロータリーだけが職業奉仕を言っている。ロータリーでは「自分の職業を通じて、社会に奉仕する団体」と言っている。

ロータリーの言う職業奉仕とは、職業を通じての個人奉仕” I serve、と言う事が原点となっている。皆で一緒にやろうではなく、一人一人の職業を通じ、地域に世界に奉仕する事である。

売り手良し・買い手良し・世界良しの、3方良しであります。

事業をする事は自分の為に利益を得たいと思い、又、人の為に尽くさなければならないと考えます。この2つの調和を図り、その矛盾を和らげようとする事こそ「超我の奉仕」であり、これを身につける為、各業界で選ばれた人が、毎週1回の例会に出席し、奉仕の場を育くみ自己研鑽して、事業経営に役立てる、これがロータリー活動であるとする。

久しぶりの編集です。それでも診療の合間にパソコンに向かって編集するのにも慣れました。

先日、東京の銀河劇場で井上ひさし作、「組曲 虐殺」という舞台劇を家内と見ました。派遣切りの問題から小林多喜二が、いま再注目されています。彼に焦点を当てたこの戯曲は、大変今日的なのですが、いかんせん当時と今の状況では違いがありすぎて、戸惑う場面が多いのも事実です。

しかし、さすがに井上ひさしさんの戯曲は、一人一人の登場人物に陰影があり心に響くものがありました。たった6人の登場人物で3時間あまりの舞台を務めるのは、体力的にもなかなか大変です。生身の人間が目の前で演じる、その迫力はテレビや映画では味わえないものです。

井上ひさしさんが率いるこまつ座の舞台は、これまでも何度か観劇しましたが、練りに練ったその脚本は観客を飽きさせません。もの書きとしての小林多喜二に自分自身が投影され、多喜二の後ろに井上ひさしの顔が浮かび上がる場面もありました。

それぞれがみんな忘れられない人生の一場面を心に抱えて生きている、という台詞は忘れられませんでした。

(文責 名古屋輔)



沼津西ロータリークラブ週報



ロータリーの未来はあなたの手の中に

2009～2010年度
第19巻 14号
2009年10月8日

●クラブテーマ● ロータリーで仲良く

■■ 本日のプログラム ■■
会員卓話 会長 (井上武雄君)
米山委員 (芹澤和子君) 幹事 (杉山壽章君)

例会場：ブケ東海 例会日：毎週木曜日
(18:30点鐘) 第三木曜日：18:30

事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第872例会 会長挨拶◆◆

井上 武雄 会長

先日、米山梅吉記念館創立40周年記念式典が9月19日、米山梅吉記念館ホールにて開催されました。

来賓、功労者6名、2620地区以外、青森県から徳島県まで43名、山梨県47名、静岡県106名、計202名でした。

恒例の秋季祭典より、40周年記念ということもあって、参加人員も例年より多かったと思います。年2回、春と秋に例祭がありますが、この時期にあらためて、米山梅吉さんを偲んでロータリーを思い考えることは必要な事ではないでしょうか？

米山さんの言葉に、こんなものがあります。「記念とは単に回顧ではなく、内省でもあり、また、服膺でもある。決して粗略に考ふべきではない。」と。

当クラブの参加者の皆様ありがとうございました。後程、卓話がありますので、宜しくお願いします。

そして、米山梅吉記念館副委員長鈴木良則さん、米山記念館創立40周年記念、おめでとうございます。長年の努力、ほんとうに、ご苦労様でございます。一言、付け加えさせていただきます。

10月のプログラム

873回	12:30	沼津東急	ガバナー公式訪問
10月13日(火)		曜日変更	移動例会
874回	12:30	米山記念館	米山奨学生卓話
10月22日(木)		朴俊範(韓国)様	移動例会
875回	12:30	ブケ東海	外部卓話
10月29日(木)		帯笑園(植松靖博様)	

11月のプログラム

876回	12:30	沼津市商工会(旧原町商工会)	
11月5日(木)		鯉の放流	曜日変更 移動例会
877回	12:30	ブケ東海	
11月12日(木)		委任(ロータリー財団)	理事会
878回	18:30	ブケ東海	夜間例会
11月19日(木)		地区大会報告	会長・幹事・新会員

クラブ管理運営委員会報告

●ビジター

1. 砂田嘉正様：沼津 RC
2. 内田文喬様：沼津北 RC

★出席報告 (会員総数 23名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
872回	23名	17名	-	73.91%
870回	23名	22名	0名	95.65%

会長	井上武雄	幹事	杉山壽章
広報委員長	植松正	編集者	名古良輔

●欠席者 (6名)

本村文一、成田みちよ、大池省吾、尾島康夫
重光 純、鈴木泰次

●スマイル報告

1. 内田文喬様 (沼津北 RC) : いつも、お世話になります。
2. 鈴木良則 : 台風 18 号が上陸しましたが、大した被害もなく立ち去ってくれました。
3. 井上武雄 : 台風の影響ありませんでしたか？
4. M. C. D テーブル : テーブル会残金です。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

- ① 吉原ロータリークラブ
10月15日(木) 特別休会
- ② 富士宮ロータリークラブ
10月12日(月) 祝日休会

2. 報告・連絡事項

- ① 次週の10月13日は、東急ホテルにて、ガバナー公式訪問の移動例会です。又、10月22日は、米山梅吉記念館にての、移動例会です。間違えないようにお願いします。
- ② 例会後理事会があります。

理事会報告

1. 報告事項

- ① 11月8日地区大会
(柿田川 RC とバスで乗り合い)
時間については後日連絡します。

2. 協議事項

- ① 11月プログラム クラブ管理運営委員長 久松但君、プログラム担当 杉山寿章
- ② 10月29日の卓話の報酬は10000円でよろしいでしょうか→10000円
- ③ 11月5日鯉の放流について(予算)→7万円
- ④ インターアクトクラブ予算承認検討
→今回は10万だが支出あるごとに協議する
インターアクト例会に出席した場合メーキャップ扱いするのか?
→メーキャップとする。

- ⑤ 会員増強維持委員会より12月3日の例会には入会しそうな友人を連れてきてください。
但し友人の食事代は会員もちとする。@2500円
- ⑥ 加藤学園の先生が地区大会に出席の為の交通費・ガソリン代費として10000円渡す。
- ⑦ 11~12月の座席表について クラブ管理運営委員長 久松但君 SAA 栗原侑男君
→抽選により決定。

卓話



井上武雄 会長

2009年9月19日14:00より、米山梅吉記念館創立40周年記念式典が開催されました。

参加総数202名と、多勢のロータリアンの方々が出席なされ、会場は所狭しの状態でした。

(財)米山梅吉記念館の理事長渡邊修助さんの開会の挨拶に始まり、記念講演として、迫田信行氏による講演がありました。演題は、幕末の先覚者、江川担庵についてでした。本命、江川太郎左衛門英龍さんの業績をユーモアをたっぷり含んだお話が大変おもしろく興味を持ってました。

江川家は、初代の苗字は、宇野家であった事や、初代宇野頼親は、実は源満仲の次男だった事や、江川家は酒造家で、多大な畜財をしたことなど、色々江川家の歴史が理解できて、楽しい記念講演でした。



杉山寿章 幹事

当クラブからは、米山記念館副委員長の鈴木良則さん、米山記念館運営委員の芹沢和子は早くから受付の準備をしていました。疲れも見せず笑顔で井上会長と私たちを迎えてくれました。

会場に入りますと出席者の多さにびっくりしました。(200名内外)なにしろ出席者の熱気でクーラーも効かないくらいでした。出席者の中には遠い所では青森県 RC ~ 徳島県 RC の方がおりました。

式典は14:00より米山梅吉記念館理事長の渡辺さんの挨拶で始まりました。(挨拶の中に創立40周年を迎える事が出来たのもひとえに、全国のロータリアン初め関係各位の理解とご厚情の賜物だとあり、皆様と共に祝いが出来たことを感謝していました今日から記念館の新しい歴史の一步がスタートします今後とも皆様のご支援をお願いしたいと挨拶がありました)

来賓の紹介・出席クラブの紹介・功労者表彰・来賓の挨拶後閉会休憩後記念講演(演題は幕末の先覚者 江川坦庵(たんあん))講師迫田信行江川坦庵は教養豊かな父の影響により幼少時から坦庵に一流の師をつけて学ばせた旺盛な探究心が坦庵を多才・多芸のマルチ人間に成長させた。又いろいろな人物と出会う(渡辺崋山・高野長英・ジョン万次郎)そのためにさまざまな手段を用いて情報を入手し統合して実行に移していった。又知識・技術を次の時代を背負う人材育成の為に伝授し(木戸孝允・井上肇・木梨精一郎・黒田清隆・大山巖・大鳥圭介・榎本武揚・伊藤祐享)明治政府をささえた人材を育てた。坦庵の功績は偉大であり。55年の生涯は余りにも短い。もしいまの時代に生きていたらよなおし総理大臣ですかね。すばらしい講演を聴いてよかったです。



米山委員
芹澤和子君

本年度初めて米山委員を承りました。何もわかりませんが、これから勉強をしていきたいと思えます。

9月19日米山記念館創立40周年記念式典が開催されました。受付開始は12時40分でしたが、私達は10時に集合しました。それ以前に委員会を2度行いましたが、一つのクラブで行う事業でないために、なかなか連絡、コミュニケーションが取りにく

いと感じました。私は、担当地区副委員長の鈴木良則さんから役員の決定事項をいただいていたため、事前に参加人数、役割の内容、プログラム等を知ることができましたが、大半の人は当日に説明を受けたのです。参加予定者202名の受付、お祝儀、お祝儀の領収証発行、スマイルの受付、リボンを渡し、出来れば胸につける、お金をあわせる、お顔と名前が一致しない、大変な仕事でしたが、何もわからずに一人しかいない受付を一生懸命いたしました。裾野の女性メンバーがタクシーの受付をしていましたが、その仕事も大変そうでした。

でも、私には鈴木良則さんが隣にいつもいてくれましたので、大変心強かったです。式典に出席できなかった事は残念でしたが、米山梅吉翁の偉大な業績を展示室でゆっくり拝見しまして、全ロータリアンが守っていくべき記念館だと感じることができました。

編集後記

米山記念館の運営について卓話を拝聴しました。あれだけの記念館を維持運営するのは並大抵の苦労ではありません。担当地区副委員長の鈴木良則さんを初め多くの方のご苦労の賜と思えます。本当にご苦労様です。

今週はガバナー公式訪問のため例会が火曜日でした。

先週末家族と京都・大阪の旅行に行ってきました。紅葉にはまだ早かったのですが、盛りの紅葉はどれほど綺麗だろうか、と想像しながら楓やモミジの木を眺めるのも風情がありました。吉田兼好の言う、「花はさかりに、月はくまなきをのみ見るものかは」を自分なりに実践してみました。想像力を働かせてこそ、もののあわれがあるのだ、ということでしょうか。

(文責 名古屋輔)

-----9月分出席一覧-----

久松(3, 1)+1	井上(④)+1	栗原(④)	宮島(④)	宮口(④)	本村(3)	名古(④)
成田(3)	大池(④)	大村(④)	尾島(3)	芹澤貞(④)+1	芹澤和(3, 1)	重光(④)
杉山了(④)	杉山真(④)	杉山壽(④)	鈴木博(3, 1)	鈴木泰(3)	鈴木良(3, 1)	土佐(2)
植松(④)	渡辺(3, 1)					
			例会出席%	88.04 %	地区報告%	93.48 %

氏名(ホームクラブ出席数、他クラブ出席数)+超過出席数。丸数字はホームクラブ出席100%を示す。



沼津西ロータリークラブ週報



ロータリーの未来はあなたの手の中に

2009～2010年度
第19巻 15号
2009年10月13日

●クラブテーマ● ロータリーで仲良く

■■ 本日のプログラム ■■
■ガバナー公式訪問 沼津北 RC合同例会■

例会場：ブケ東海 (18:30点鐘) 例会日：毎週木曜日
第三木曜日：18:30

事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第873例会 会長挨拶◆◆

■■開会のあいさつ■■



沼津北 RC 会長
山本 倫弘様

第2620地区飯田ガバナーをお迎えして、ガバナー公式訪問、沼津西ロータリークラブとの合同例会です。

飯田ガバナー、長久保地区幹事、折笠地区副幹事、公式訪問、誠に有難うございます。又、沼津西ロータリークラブ会員の皆様、ようこそお越し下さいました。どうぞごゆっくり例会をお楽しみ下さい。

午前中の会長幹事会に於いて、ガバナー並びに地区幹事よりご指導を頂き、後ほど卓話で、RI会長方針、ガバナーの地区目標についてお話しいたきたいと思っております。飯田ガバナーの横顔につきましては、8月号のロータリーの友、ガバナー紹介に掲載されておりましたが、東京大学工学部土木学科ご卒業後、一度は国家公務員になった後、家業の株式会社メイキョーに戻られたとの事です。1992年甲府シティーロータリークラブの創立会員でございます。紹介の言葉を借りれば、「いつも本気の愛すべき男」と言う事ですので、会員の皆様、今日の卓話を楽しみにして頂きたいと思っております。

■■閉会のあいさつ■■

井上 武雄 会長

第2620地区飯田ガバナーをお迎えしてのガバナー公式訪問ありがとうございました。

飯田ガバナーをはじめ、積ガバナー補佐、長久保地区幹事、折笠地区副幹事、色々ご指導戴き誠にありがとうございました。

又、この場をかりまして、先日の沼津西ロータリークラブと加藤学園高等学校とのインターアクトクラブ認証状伝達式の際には、ガバナーはじめ地区役員の皆様ならびに沼津北ロータリークラブの皆様方におかれましては、多大な御支援と御協力をいただきまして、高い所からではございますが、心よりお礼申し上げます。

沼津北ロータリークラブ山本会長のご挨拶の内にもありましたが、第2620地区内で同時期の同級生会長ということは、今までの中であつたのでしょうか。小学校の頃から仲のよい同級生でしたので、これからも、仲よく協力し合ってクラブ活動に専念していきたいと思っております。

最後になりましたが、2クラブ合同例会があたたかい皆さんの気持ちでおもてなしの中、楽しく行えたことを大変嬉しく思い、そして感謝しております。又、ご一緒させて頂くことを楽しみにしています。

会 長	井上武雄	幹 事	杉山壽章
広報委員長	植松 正	編 集 者	名古良輔

10月のプログラム

874回	12:30	米山記念館	米山奨学生卓話
10月22日(木)		朴俊範(韓国)	移動例会
875回	12:30	ブケ東海	外部卓話
10月29日(木)		帯笑園(植松靖博様)	

11月のプログラム

876回	12:30	沼津市商工会(旧原町商工会)	
11月5日(火)		鯉の放流 曜日変更	移動例会
877回	12:30	ブケ東海	
11月12日(火)		委任(ロータリー財団) 理事会	
878回	18:30	ブケ東海	夜間例会
11月19日(木)		地区大会報告	会長・幹事・新会員
879回	12:30	ブケ東海	
11月26日(木)		会員卓話	大村保二君

クラブ管理運営委員会報告

●ゲスト

1. RI 第2620地区ガバナー 飯田 祥雄様
2. RI 第2620地区、地区幹事 長久保 深様
3. RI 第2620地区、地区副幹事 折笠 浩二様
4. RI 第2620静岡第3分区ガバナー補佐 積 惟貞様

★出席報告(会員総数23名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
873回	23名	17名	-	73.91%
871回	23名	21名	2名	100.00%

●欠席者(6名)

栗原侑男、成田みちよ、大池省吾、尾島康夫
鈴木良則、土佐通孝

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①吉原ロータリークラブ

10月15日(木) 特別休会

②沼津ロータリークラブ

10月16日(金) 裁量休会

(メーカー受付けはしません。)

③新富士ロータリークラブ

10月20日(火)→18日(日) ウォーキング例会
於：高尾自然研究路

11月03日(火) 法定休会

11月10日(火)→01日(日) サイエンスプロジェクト in Fuji 於：大淵まちづくりセンター

11月24日(火)→21日(土) 移動家族例会

2. 連絡事項

①次週10月22日は、米山梅吉記念館にての、移動例会です。

卓話



RI 第2620地区
ガバナー

飯田 祥雄様

沼津北ロータリークラブと沼津西ロータリークラブの皆様こんにちは。

今日は、静岡第3分区のガバナー補佐であり、第2620地区のガバナーノミニーでもある積惟貞様と一緒に伺いました。

私は、7月27日月曜日に、牧田静二直前ガバナーの在籍される静岡ロータリークラブを最初の公式訪問先として伺いまして、増強の話をしました。

それ以来全てのクラブで増強の必要性を話題の中心にしました。そして、現在のロータリーにとって、増強は基本であり、最も重要な奉仕活動であると主張しました。

クラブに新人を迎え入れることは、大きな親切であり奉仕活動なのだと言いました。入会して欲しいとお願いすると言うよりは、入会すると素晴らしい世界が待っているよと話してほしいのです。

新しい会員の候補者として、どのような人を探すかについて、青年会議所や商工会議所の卒業生を皆が求めているけれど、地域の学校のPTAにも有能な人がいっぱい居て、毎年卒業生が居ることに着目してほしいと思います。

私が、この提案をしますと訪問先のクラブの会長さん幹事さんから増強はもっと多彩で効果の良い方法がいろいろあると教えてもらいました。

定年退職で家業に入った人、新しい仕事を始めた人は大切な人材であり、長寿社会の大切な職業人だから、ロータリアンになって、健康で長生きしてもらいたい。この事に関係ないと言ったクラブは有りません。このほか親子増強、拡大例会外部卓話者は、大切な新会員候補など沢山の智恵と工夫を紹介して、もらうことができました。

7月26日の甲府での会員増強維持セミナーでも女性会員から単に数合わせのための増強は歓迎できない

いと発言がありました。確かに、その通りで私も、たいへん心強く思いました。

2620 地区には、現在 2 人の女性会長が活躍中です。以前女性会長が、就任した記録のあるクラブもいくつかあります。女性の幹事は現在 4 名です。女性の理事、委員長は珍しくなくなりました。今 2620 地区では半数を超えるクラブで、女性会員が在籍し活動しています。

私のクラブは 18 年前に甲府市に現存する 6 つのクラブの有志達が夜間例会と女性会員受け入れを特色とする新しいロータリークラブを創立する、としてスタートしました。最初から 7 名の女性会員を確保しました。その後若干の増減がありましたが、現在も、女性会員の数は 7 人です。女性の会長経験者は 3 人、幹事経験者は 1 人で、幹事エレクトが 1 人で、皆さん活発に活動しております。

又、三島ロータリークラブにも 7 人の女性会員がいて 2 人の理事、委員長、会計、副幹事を分担してクラブの運営に直接参加していました。

パワー浜松にも直前会長を含む 7 人の女性会員がいて、活発に活動していました。今や女性会員が活躍するクラブは珍しくない状況になってきました。

ご参考までに、初めて女性会員を受け入れる時には 2~3 人一挙に入会してもらおうと定着率が高いと、女性会員が紹介した女性会員の定着率が高いことを申し添えておきます。又、男性でも若い会員を向かえ入れるときは、数人一緒だと定着しやすいこともよく話に出ます。

釈迦に説法ですが、私達ロータリアンにとって会員増強は職業奉仕の大切なひとつの手法です。先輩のお言葉の中に「ロータリークラブは世評の良い社会人で立派に職業活動を行っている人達の集まりだから、入会することによって、自分もその人達の仲間に入ることが出来る。ロータリークラブに入会することは宝の山に入ることなのだ」という平易な言葉ながら強く胸を打つものがあります。

私はこの宝の山と言う言葉に大変意味深いものを感じています。ロータリークラブに入れば沢山の宝がある。転がっている、しかしそれに気付いて、又勤めてこれを拾わなければ我がものにならないのです。だから、ロータリーの中で、よき友を得ることが、必要なのだと言外に教えてくれていると思います。

今 RI や財団は盛んに拡大や増強を求めています。このことが集めることが出来る資金の大きさに関係するので、不況下で会社の安定、補強に苦勞している私達は若干の違和感を持つことがあるかもしれません。

しかし私達の増強活動にはロータリアンとしての基本的な理念である職業奉仕を実践するという意味があることを再確認したいと思います。私達にはこれが第一のテーマなのです。

RI はポリオプラス、水問題、保健と飢餓救済、識字率向上という奉仕活動としての評価が高いのですが、大きな資金の必要な長期計画に取り組んでいますから、増強は RI にとって大変重要なテーマであることは理解したいと思います。しかし、私達ロータリアンにとってそれは第二義の効果である、と整理して職業奉仕を推進しましょう。

私達ロータリアンは職業人として強い倫理意識を持ち、高い道徳律を守りながら自分の職業に精励し

て、自分と家族、並びに、部下達、仲間達の生活を安定させ、職業を発展させると言う基本的な義務を達成しなければなりません。その上で更に加えることが出来た職業の成果をもって近隣など縁が繋がる人達にも幸せを分かちつという奉仕の心を忘れない良き社会人であることを求められています。

現在のように厳しい社会状況の下では、私達は努めてこれを語り実行することが重要です。このことによって、私達は達成感、充実感を高めることが出来ますし、共に行動する友人として連帯感を持つ事が出来ます。安定感を持ち幸福を思うことが出来ます。頑張りましょう。

私は、10 月 28 日（水）に所属する甲府シティロータリークラブに戻るまで、79 クラブを同じようなことを申し上げながら歩かせて頂きます。その上で 11 月 7 日・8 日の土曜、日曜日に甲府市で開催する地区大会において皆様と再びお会いできた時に、なんとか仕上げました。と報告することを楽しみにしております。

皆様の、ご健勝とご多幸をお祈り致します。

編集後記

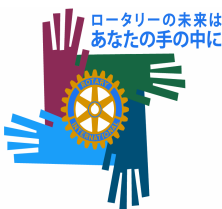
毎年の事ながらガバナー公式訪問は、会長・幹事さんにとって緊張するひと時です。例会前の懇談において、いったいどんなことを尋ねられるのだろうか、と会長年度では自分自身、訳も分からず落ち着かなかったことを覚えています。

唐代の詩人、劉(りゅう)希夷(きい)の

年年歳歳花相似たり 歳歳年年人同じからず

のとおり、合同例会は毎年繰り返されますが、お越しくださるガバナーは毎年異なるわけです。今年の飯田ガバナーのお話は私にとっては大変勉強になりました。来年はどんなお話をしていただけるでしょうか。

(文責 名古良輔)



沼津西ロータリークラブ週報



ロータリーの未来はあなたの手の中に

2009～2010年度
第19巻16号
2009年10月22日

●クラブテーマ● ロータリーで仲良く

■■ 本日のプログラム ■■
■ 米山記念館 米山奨学生卓話
朴俊範さん（韓国）移動例会 ■

例会場：ブケ東海 例会日：毎週木曜日
(18:30点鐘) 第三木曜日：18:30
事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第874例会 会長挨拶◆◆

10月度は、米山月間です。そして、本日は、米山梅吉記念館での定例会です。

三島ロータリークラブ米山記念奨学委員会、小野毅様よりご案内していただきました米山奨学生朴俊範さんに卓話をお願いしています。

朴さんの出身は、お隣の国韓国よりお越しのことです。

後程、将来の夢や日本の感想等お話を預けると思っています。楽しみにしていますので、宜しくお願いします。

また、本日は、三島西ロータリークラブよりロータリー財団米山委員長であります、原久一様と、ご一緒に出席なさっていただきました。朴さんのご紹介等、ご挨拶の程、宜しくお願いします。

クラブ管理運営委員会報告

- ゲスト
- 1. 朴 俊範様：米山奨学生
- 2. 原 久一様：三島西ロータリークラブ

- ビジター
- 10月22日に、ブケ東海にて記帳された方

- 1. 山口幸男様：御殿場 RC
- 2. 後藤憲治様：富士宮西 RC
- 3. 齋藤利一様：沼津北 RC
- 4. 吉野日出夫様：沼津北 RC
- 5. 大塩秀樹様：沼津北 RC
- 6. 内田文喬様：沼津北 RC

★出席報告（会員総数23名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
874回	23名	19名	-	73.91%
872回	23名	17名	0名	100.00%

10月のプログラム				
875回	12:30	ブケ東海	外部卓話	
10月29日(木) 帯笑園 (植松靖博様)				

11月のプログラム				
876回	12:30	沼津市商工会(旧原町商工会)		
11月5日(木) 鯉の放流 曜日変更 移動例会				
877回	12:30	ブケ東海		
11月12日(木) 委任(ロータリー財団) 理事会				
878回	18:30	ブケ東海	夜間例会	
11月19日(木) 地区大会報告 会長・幹事・新会員				
879回	12:30	ブケ東海		
11月26日(木) 会員卓話 大村保二君				

- 欠席者（4名）
- 久松 但、本村文一、成田みちよ、尾島康夫

- 他クラブへの出席者
- 栗原侑男（10/20 新富士 RC）

会 長	井上武雄	幹 事	杉山壽章
広報委員長	植松 正	編 集 者	名古屋良輔

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①新富士ロータリークラブ

11月03日(火) 法定休会

11月10日(火) →01日(日) サイエンスプロジェクト in Fuji 於:大淵まちづくりセンター

11月24日(火) →21日(土) 移動家族例会

②沼津柿田川ロータリークラブ

11月16日(月) →23日(月・祝) 清水町ふれあい広場へ参加

2. 報告・連絡事項

①地区大会(11月08日)に参加される方はAM6:20にブケ東海に集合してください。

6:30 出発します。御殿場経由で会場(山梨県立県民文化ホール)には8:30着の予定です。

②インターアクト例会に出席した場合はメーキャップ扱いとします。

卓話



米山奨学生

朴 俊範さん

■ 21世紀の和 ■

皆さん、こんにちは。私は日本大学国際関係研究科修士課程の2年生バク チェンボムと申します。私は、日本でまだ2年しか勉強しておりませんので、日本語を十分に話せませんが、もしお聞き苦しいところがありましたら、お許しを戴きたいと思います。

今日、私は、「21世紀の和」ということについて、私が日頃感じていることを話したいと思いますが、その前に、私がどうして日本に来たのか、日本で何を勉強しているかについて簡単に話します。私が初めて日本に長く滞在したのは、2002年のワールドカップの時に、ワーキングホリデービザで来た時でありました。その時はワールドカップによって、両国間の関係が新たに進展している

時でしたので、私はそれに関心を持ち、日本へ来ました。友達と一緒にいろんな地方を旅行して、さまざまなものを見ましたが、一っだけ残念だったことは日本人との交流がなかったことです。

ワーキングホリデーを終え、韓国に帰ってから日本語と日本文化に対する講座を申し込み、体系的な勉強を始めました。

私は日本に対する授業を受ける時に「朝鮮半島の統一」という問題が常に私の頭の中にもありました。何故なら、朝鮮半島の統一なくして、北東アジアの平和は永久的にあり得ないからです。また、日、中、韓は歴史的に複雑な関係にあります。北東アジアのこんな複雑な問題を平和的に解決するためには、経済的交流が、最も有効な手段であると思いました。そのため、私は最初に韓国と一番近くにある日本で日本文化を学んで、経済的な勉強をしなければならないと考え、日本へ来ることになりました。

それでは、本論に戻って「21世紀の和」に対して話します。ただ、これから申し上げますことは、私の個人的な視点で眺めたものですから、或いは偏った部分があるかもしれません。「和」は日本を代表する字の中の一つだと思います。韓国に帰った時、誰かが日本について話して見なさいと言えば、私は「和」という日本を代表する字について話したいと思います。

私は、日本の一般家庭に2ヶ月ぐらいホームステイをしたことがありました。昼のバイトが終わり、夕方「帰った時には疲れていて、すぐに私の部屋に行ってしまう、ホームステイの家族と話す時間があまりなかったのです。ある時、おばあさんがおっしゃいました。簡単に整理すると、「うちの家族は、朴君が居る2ヶ月の間は、朴君は私達の家族だと思っています。そうだから、夕方ちょっと疲れていても和室に集まって一緒にお茶を飲んで、TVを見ながら話をして、お互いに理解することができる時間をたくさん持ったら良いと思います」という内容でした。

初めは非常に疲れましたが、いろんな国で過ごした経験から推し量って、頭で理解することができなければ、先ず身体で感じて見ることが他の文

化を一番易しく学んで理解することができる方法であると考えました。そのため、私は、おばあさんのお話のままに、夕食を食べて、一時間でも家族の人達と一緒にお茶を飲んで、TVも見ながら話をして過ごしてみました。2ヶ月という時間が電光石火のように経ち、私は、韓国へ帰りました。その家族との思い出を回想しながら分かりました。「あ!そうだ!そのため、和室だ。」と分かりました。

韓国では家族の大事さは儒教的な価値観によって形成されているが、日本は「和」という思想によって家族の大事さが守られていることに気付きました。そのため、和室と言うのかと分かりました。このように、和は調和、平和、似合う、など共同体の秩序を維持して、和合することだとわかり、「和」という字を通じて日本の思想を学ぶことができました。

一方に、こんな考えもしました。和は、共同体の構成要素の調和を強調するが、調和がすぎるほど構成員たちの個性が無視されて、よく言う「いじめ」が生ずるのではないかと思われました。もうちょっと考えて見れば、国家的な次元で和が過ぎるほど鎖国や閉鎖的な社会になるのではないかと思います。そこに外国に対する国のエゴイズムが生まれてくる危険性があります。それとともに、21世紀に入り、情報の自由化、物流の発達、人的資源の移動によって私たちは多様な文化に接しながら暮らす世界化時代が来ました。こんな時代に私は、「和」に対してどう思わなければならないか、疑問を持つようになりました。和の長所を生かして平和の道に行く方法ですね。

私はその方法をロータリークラブで捜してみました。そして、ロータリー奨学金を申し込む前にロータリー記念館に訪問して見ました。理由は私がどんな目的の奨学生を申し込んで、受けようとするかに対して知りたかったからです。記念館から家に帰る途中で口元に笑いを隠すことができませんでした。20世紀の歴史的な痛みたちを越えて未来のための、平和のための希望の種子を見たからです。私が今まで思って来た平和が日本ではこんなに成り立っている!という考えに心強い同志に会った感じを受け、大事な喜びを抱いて家に帰って来ました。

私が思う「21世紀の平和」、「世界化時代においての和」は抽象的だが最小限一つの団体、組織一つの民族、一つの国家のためだけの「和」ではないと思います。国境を飛び越えて、人種の壁を越えて、思想の壁を飛び越えて、人類のための世界平和を思うのが、21世紀における「和」の姿ではないかと思います。これから冬が近付くと、天気も寒くなりますが、私の心の姿勢は、いつも人類のための、世界平和のための心で熱く燃えるでしょう。皆さんも私の心と一緒に思ったら拍手で応えてくださいませんか!ありがとうございます。私は日本人の皆さんが持っている「和」の精神は、皆さんが世界に誇ることができる宝物だと思います。この宝物を是非大切に守って下さい。

これから日本での生活が、あと7ヶ月となり、短く感じられます。なぜなら、多くのことを学ばなければならないという私の欲が大きいからです。そのため、私は、さまざまな経験の機会を与えてくださったロータリークラブ関係者の皆さんに深い感謝を申し上げます。

これからも皆さんからいろいろな経験の場を与えていただきたいとお願い申し上げます、話を終わります。

ご清聴、ありがとうございました。

編集後記

米山奨学生 朴 俊範さんのお話は大変興味深いものでした。聖徳太子が17条の憲法を制定したのが604年。今日で言う憲法とは異なり、官僚や貴族に対する道徳的な規範を示したものである、とされています。一に曰く、和（やわらぎ）を以（もち）て貴（たふと）しと為し（なし）、忤（さか）ふることを無きを宗とせよ、とあるのはご存知の通りです。

16世紀以来の「ヨーロッパの栄光は、アジアの屈辱である!」と言ったのは岡倉天心。21世紀、彼の夢であった平和で豊かなアジアが実現されることを心から願うものです。

(文責 名古屋輔)



沼津西ロータリークラブ週報



ロータリーの未来はあなたの手の中に

2009～2010年度
第19巻 17号
2009年10月29日

●クラブテーマ● ロータリーで仲良く

■■ 本日のプログラム ■■
外部卓話 帯笑園 (植松靖博様)

例会場：ブケ東海 (18:30点鐘) 例会日：毎週木曜日
第三木曜日：18:30

事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第875例会 会長挨拶◆◆

10月度は、職業奉仕米山の月間です。

10月の最後の週となります。本日は、以前にも清掃活動にてご縁がありました、帯笑園より植松靖博様をお迎えしての例会です。後程、卓話をお願いしてあります。宜しく申し上げます。

帯笑園さんといえば、以前に伺った時の見事な松の木の枝振り、立派な庭園のお掃除がとても綺麗になされていた事を思い出します。

庭や樹木といえば、この処、山は色づきを見せて、所々に秋を感じるようになってきたと思います。この時期になると、考えに、物思いにふけてしまいますが、皆様は、どうでしょうか。

秋の時期は、色々見つめる事の出来る時間がとれる、とても有意義な時だと思います。

ロータリーを見つめ、ロータリーを考えた時、適格な会員増加をさせ、クラブの活力を強化することだと思います。

新しい会員を推薦することは、ロータリアンとしての最大の特典であると同時に基本的な責務でははいでしょうか。

会員増強委員会に活発な活動をしていただくことはもちろんのことですが、会員一人一人も、委員会任せにせず絶えず適格な会員の発見と増強を心掛ける様にさせていただけることをお願いしたいと思います。

11月のプログラム

876回	12:30	沼津市商工会(旧原町商工会)
11月5日(木)	鯉の放流	曜日変更 移動例会
877回	12:30	ブケ東海
11月12日(木)	委任(ロータリー財団)	理事会
878回	18:30	ブケ東海 夜間例会
11月19日(木)	地区大会報告	会長・幹事・新会員
879回	12:30	ブケ東海
11月26日(木)	会員卓話	大村保二君

クラブ管理運営委員会報告

●ゲスト

1. 帯笑園:植松靖博様

●ビジター

- 古石允雄様：江別西 RC(2510 地区)
- 若林庸道様：沼津北 RC
- 名取賢吉様：沼津北 RC

★出席報告 (会員総数 23名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
875回	23名	19名	-	82.61%
873回	23名	17名	2名	82.61%

●欠席者 (4名)

宮口雅仁、本村文一、成田みちよ、尾島康夫

会 長	井上武雄	幹 事	杉山壽章
広報委員長	植松 正	編 集 者	名古良輔

●他クラブへの出席者

久松 但 (10/23 沼津 RC)

土佐通孝 (10/26 沼津柿田川 RC)

●スマイル報告・・・10月22日分

1. 原 久一様 (三島西 RC) : 本日は、宜しくお願ひします。
2. 井上武雄: 原久一さん、ありがとうございます。朴俊範さん、宜しくお願ひします。
3. 杉山壽章: 原さん、朴さん、今日は卓話、宜しくお願ひします。
4. 鈴木良則: 米山記念館での例会は、心が安らぎます。
5. 宮島賢次: 伝達式実行委員会反省会の残金です。皆様、ご協力ありがとうございました。

●スマイル報告・・・10月29日分

1. 杉山壽章: 誕生日のお祝ひありがとうございます。
2. 杉山真一: 妻の誕生日のお祝ひありがとうございます。
3. 名古屋良輔: 妻の誕生日のお祝ひありがとうございます。
4. 大池省吾: 妻の誕生日のお祝ひありがとうございます。
5. 渡邊亀一: 妻の誕生日のお祝ひありがとうございます。
6. 井上武雄: 植松様、本日は、卓話、宜しくお願ひします。
7. 杉山壽章: 植松様、今日の卓話、宜しくお願ひします。
8. 鈴木良則: 先週、全国還暦野球大会が伊豆市で開催され友人のチームが、優勝しました。
9. 鈴木博行: 所用につき、早退させていただきます。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

ありません

2. 報告・連絡事項

- ① RI 第 2620 地区インターアクト指導者講習会開催について連絡がはりましたので参加 出来る方は 11 月 12 日までに (芹澤実行委員長・幹事) 連絡をお願いします。

インターアクトクラブのホストは沼津中央高等学校です。

日時: 平成 21 年 12 月 13 日 (日)

AM10:15~PM3:00

場所: ぬまづ健康福祉プラザ サンウェル沼津

②日本事務局より 11 月のロータリーレート、1 ドル = 90 円との連絡がはりました。

③次週、11 月 5 日は移動例会で旧原町商工会にて鯉の放流です。間違えない様をお願いします

④地区大会 (11 月 08 日) に参加される方は AM6:20 にブケ東海に集合してください。

6:30 出発します。御殿場経由で会場 (山梨県立県民文化ホール) には 8:30 着の予定です。

卓話



帯笑園について

十三代 植松 靖博 様

植松本家の祖先は武田氏の宿将須田朝重で、武田が敗れたあと、天正 10 年 (1582 年) 長泉の納米に陥りました。そして、朝重の嫡男季重が天正 12 年 (1584 年) 原に居を定めました。

爾来、開墾、植林にいそしみ、花卉類を収集し、やがて花長者と言われるようになりました。その庭は菊花園或いは、植松叟花園とよばれ、蓮、芍薬、万年青、松葉蘭、桜草の収集家として、著名となりました。

世情が安定した江戸中期になりますと、東西の文化交流が盛んになり江戸に下る公家や大名などはもとより文人墨客達の多くが立ち寄り、花卉類と京の文芸文化の交換の場となりました。この様の京の文芸画人との交際が始まるそもそもの契機は松蔭寺に参禅されて居られた斯経禅師によると言われております。当時松蔭寺の白隠禅師のもとには多くの僧侶が教えを求めて参集して居られました。斯経様は植松家の靄春堂に滞在され、6 年間松蔭寺に通われ修行なされ後に京都海福院の住職とされます。

この時代に当主六世季英蘭溪は絵画に興味を持ち、その嫡子七世季興孚丘を斯経様の取次ぎで圓山応挙に師事させ、応挙より応令の画名を受けます。

八世季服蘭丘は、頼山陽、岸駒などに師事し京との関係がますます深まり、絵画や書の蒐集が進みます。この頃、海保青陵により帯笑園と名付けられま

した。寛政3年(1791)。現存する芳名録や楊錦帳には文人墨客をはじめ将軍や大名、明治政府の閣僚、皇后、皇太子などの御来園の記録があります。和蘭商館長一行を訪れたシーボルトも「江戸参府紀行」にその庭の美しさと豊富な種類の植物に感嘆したと書いています。

昭和十年代に中国大陸での戦火が始まり、七、八名いた園丁も戦争に取られ桜草、松葉蘭などのコレクションの面倒を見ることが出来なくなり、愛好家にお譲りしました。太平洋戦争後の農地解放では、不在地主扱いで所有していた田畑は小作さんの物になり、残った住まいの部分は固定資産税や相続税の対象では宅地並みとなり、納税のため処分したくも借地人は退去してくれず、曾祖父からの納税に追われ、やむなく自分達の居住部分すなわち帯笑園の南端及び東海道側を処分し税金に当てました。現在は往時の約3分の1の敷地となりました。

然しながら、現在古い、建物が三棟そして樹齢400年以上の榎などをはじめ庭の付属物、庭で使用されていた品々が園に関する記録と共に現存します。これらの記録と歴史的な品々を敷地とともに、将来もこの場所に残すには、維持費や税金の関係で、もはや個人では不可能という状況となり、何か方法がないか思案しておりましたが、地区の有志が「帯笑園保存会」を立ち上げてくださいました。そして維持保存の運動を展開して頂き、その結果平成20年度に調査費がつき、敷地については市で買い取っていただく事となりました。

これにより22年度より一部復元のための工事が始まり、23年度末には、一部公開と言うこととなります。此れで記録や由緒ある石碑や鉢などが逸散しないで、将来に亘って保管され、歴史に興味をお持ちの方々のお役に立てば、大変嬉しい事です。私、個人としてはいささか寂しい気持が致しますが、ご先祖様にもお赦し頂けるのではと思っております。

どうぞ、これからも、新帯笑園を宜しく願い申し上げます。

編集後記

以前インターネットで興味深い調査が行われました。歴代のノーベル賞受賞者にこんなアンケートを

したのです。

「人類の歴史上、我々の生活に最も貢献した発明品は、なんだったとあなたは思いますか？」というものです。

ある人は車だと言い、ある人は原子力だと回答しました。そんな回答の中に、「それは老眼鏡だ」と答えた科学者がいました。文字が読めないと社会的決定に参画できません。それは致命的です。老眼鏡は凸レンズですから、近眼の眼鏡である凹レンズほどは作成困難ではありません。12世紀には出現していたようです。

自分自身が老眼の年齢に達して思うことは、老眼とは何と不便で辛いものか、という実感です。自分自身は中等度から強度の近視ですので、裸眼ではどんな小さな文字も判読可能です。ところが、それでは遠くは見えませんがテニスをする空振りの連続です。そこで使い捨てのコンタクトレンズを装着し近眼をゼロの状態にします。遠くが見えます。

しかし今度は文字がぜんぜん読めません。ある時、そんな目の状態でテニスコートに行き、受付でアンケートに答えてくれ、と言われました。ところが、アンケートの文面が読めません。いくら目を凝らしても読めないのです。適当に丸をして返却したところ受付の女性が苦笑い。

質問の一つが、「あなたは年金を受けていますか？」というものだったのです。さすがに5年前には、年金を受けているようには見えなかったようです。

時代は進歩し、この原稿は遠近両用のコンタクトレンズで書いています。どの度数、どの加入度のレンズを左右の目で使い分けるのが自分に一番あっているのか試行錯誤中です。さらに現在ホットな眼科的話題として遠近両用の眼内レンズがあります。アメリカの雑誌を読むとゲーリー・プレイヤーが手術を受けてよく見える、という宣伝が見られます。

しかし話は、そう簡単ではありません。ある学会でのビデオ講演を見て、遠近両用眼内レンズ挿入眼での動体視力の変動の大きさに驚いたのです。これではゴルフはできても、とてもテニスはできそうにありません。まだまだ道のりは遠いようです。

(文責 名古屋良輔)